



愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町 9-7
労働会館東館 3 F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://www.airoren.gr.jp>
発行人 樽松 佐一
第161号 2006年12月10日

あべさんとともに県政の流れを変えよう
革新県政の会総決起集会

と き 12月22日(金) 18:30より
ところ ウィル愛知ホール

知事選

あべさんと神田県政のストoppを 革新県政の会が阿部精六さんを正式擁立



軽快な沖縄の三線とエイサーが始まった「あいちde雇用祭」は集会開会後、青年が次々にリレートーク。保育士が職場の同僚から集めたアンケート結果をパネルにして発表し、持ち帰り残業の実態を報告しま



あいち
de
雇用祭

人間らしく働きたい
青年たちが雇用問題で立ちあがる

とてくみを報告し「たかかってこそ未来が開かれる」と呼びかけました。後半に登場した「セイネンジャー」は経営者としての姿を模範図交で表現し、会場は笑いの渦に。集会(参加者は名古屋駅までパレード。終着地のミッドランドスクエア(トヨタビル)前で「大企業は雇用を増やせ」とアピールしました。沿道からタクシーの運転手に「がんばれ」と声をかけられたり、手を振る若者の姿もあり、参加者からは「元気になる集会だった」「短い時間の中で、雇用問題と打開の方向がわかった」などの感想が聞かれました。並行して集約してきた青年の雇用を求める署名も当日までに3000筆が集まり、来年5月に行われる全国青年雇用集会(仮称)に向け、さらなる行動への起点となる集会とパレードになりました。

革新県政の会(以下、「会」)は12月4日、名古屋市熱田区の労働会館で第3回団体・地域代表者会議を開催し、来年の愛知県知事選挙(1月18日告示、2月4日投票)に愛労連労働相談センター所長の阿部精六さん(66・元愛労連議長)を正式に擁立してたたかうことを決定しました。

4日の代表者会議で「会」の羽根克明事務局長(愛労連議長は「石田氏側との協議実現に努力し、11月28日

には石田氏側との協議を持つことになっていたが、マスコミ報道でも明らかにならないうに、民主党と連合愛知の反発によって協議は事実上不可能になった」と経過を報告。民主党と連合愛知による妨害は「県政の流れを

変えたいと願う県民に背を向けるもの」と厳しく批判すると同時に、石田氏についても「県民の声を広く聞くというなら、まわりがな

う」とよびかけ、知事候補として阿部精六さんの正式擁立を提案し確認されました。



あべ精六 さん
(愛労連労働相談センター所長・愛労連元議長)

財界と国にも言える県政を

阿部精六さんの決意表明(抜粋)

愛労連結成当時から本にお世話になってきました。この間、県内をまわって県民のみなさんと対話をひらいてきましたが、8年間の神田県政によって県民のくらしは本に厳しくなっています。また、私がおこなっている労働相談では、月に100件を超える相談が寄せられ、働くルールが破壊されていることを実感しています。知事に求められるのは、トヨタはじめ財界・大企業にはつきりものを言い、国の悪政にも県民を代表して注文をつけることです。みなさんのご支援をお願いします。

くらむ

11月5日投票のニカラグア大統領選で、サンディニスタ民族解放戦線党のオルテガ大統領が16年ぶりに復権したニュースは、早速ニカラグアの友人からのメールでも、うれしさが伝わってきました。アメリカ支配からのノーです。日本ではどうでしょう。安倍政権に代わってもなりふりかまわず教育基本法の強行改悪へつきます。憲法九条改悪のシナリオへまっしぐら。しかし、私たちも黙ってません。宣伝行動や学習会をつみ重ねてきて声をあげて、様々な取り組みをしています。12月2日、愛知母親大会50年の歩みを祝う会では、きたがわてつさんのコンサートをおこない、間近で「憲法九条」を高らかにうたう姿勢から、いのちと平和を願う強いメッセージを120名の参加者がしっかりとつとめました。「ひまわり」の歌では被爆者の渡辺千恵子さんの核兵器を許さない思いを「みあげればそこにまっすぐなひまわり、太陽にむかい生命の花をさかす」と韓国ソウル郊外の「ナムルの家」でのコンサートでは「サラン(愛)の歌は「人として胸をはって生きたい、悲しい歴史をくりかえさせない」と心にしみる素敵なコンサートでした。このままではいかんという怒りを大きく束ねて、まずは2月の知事選で政治の流れを変える一歩にしていきたい。(柿)

展望を語って元気な春闘を 愛労連と春闘共闘が討論集会



07国民春闘の展望を語る全労連の坂内議長。二日目には分散会と初めて青年の分科会が行われた。

愛労連と愛知春闘共闘委員会は12月2日から3日にかけて瀬戸市の愛知県労働者研修センターにおいて07国民春闘討論集会を開催し、各組合や地域労連から124人が参加しました。初日には全労連の坂内三夫議長と大阪派遣・請負センターの村田浩治弁護士が講演。坂内議長は「職場で

もくらしの面でも激しい攻撃の中で元気が出ないという話をよく聞くが、教育基本法の改悪を許さないたたかいは、職場と地域から運動を積み上げ大きな共同を築いているし、最賃闘争でも私たちの奮闘が引き上げを実現している。組合員に暗い話ばかりをするのではなく、展望を語って07国

延長の可能性もありますが、臨時国会は会期末まで残り少なくなっています。憲法改悪に道を開く「教育基本法改正案」は自公の賛成多数で、平和を脅かす「防衛省設置法案」は自公に加えて民主までもが賛成して、いずれも衆院を通過し、参院でのたたかいに移っています。

職場で話してみよう！

横暴な米国支配

断ち切る変革の流れ

米中間選挙で
ブッシュ政権が大敗
アメリカの中間選挙で

求める流れが強まっています。

ノーの態度を示しました。ブッシュ大統領もイラク開戦の誤りを認めざるを得ませんでした。いまだにイラク戦争を正義の戦争と言っているの

一見私たちのたたかいは政治の流れを変え切れないと悲観しがちですが、世界の流れは確実に戦争反対、自主的民主的で国民本位の国づくりを

ブッシュ与党が大敗しました。この選挙はブッシュ政権のイラク戦争・占領政策への国民の審判として注目されましたが、国民は明確にイラク戦争

は、日本の小泉さんや安倍さんくらいです。アメリカ支配から決別する中南米

10月29日に行われた南米ブラジルの大統領選決選投票で、米国支配からの自立と社会福祉・貧困対策の継続を訴えた左派・労働党の現職ルラ大統領が大差で再選されました。

11月に入ってから、ニカラグアで左派のオルテガ氏が16年ぶりに大統領に再選。エクアドルでも左派のコレア氏が米軍基地撤去などを公約に大統領選で勝利しました。中南米での「横暴な米国支配」を断ち切る変革の流れは、一層鮮明になっています。

これら世界の流れに確信を持ち、この日本でも改憲阻止、米軍基地撤去、自衛隊強化反対の流れを私たちの運動でつくりましょう。(完)

民春闘を元気にたたかう」と訴えました。村田弁護士は派遣・請負労働の現状と問題点、労働組合の課題について講演。

財界の要求のもと政府の政策によって労働者保護法制が崩され、非正規労働がひろがりさらに規制緩和が進められようとしていること。

働く人のための労働行政を

愛労連が県と労働局に要請

愛労連は「偽装雇用をなくし、働くルールを守る」月間にあたって愛知県と国に対し要請を行いました。

県へは11月27日に羽根議長以下9名が参加。非正規雇用労働者が急増しているもとで、「働く人を対象とした労働講座」や「労働者むけのパンフレット」の作成などを要請しました。東京都や長野県などでは高校生向けの「職場で必要なルールブック」(長野県)や「パート・アルバイト、派遣社員、契約社員で働くみなさまへ」リーフレット(東京都)を配布しています。

ところが県は「労使関係の安定と中小企業における労務管理の適正化」だけ。労働者向けのパンフレットは「そのような計画はない」という態度です。偽装請負が蔓延する大企業のなかで労働者の動きは見えません。「連合」を特別扱いし、事業者をお願いするだけの県の労働行政は時代の変化に追いついていません。

12月1日には労働局に対し、偽装雇用の一掃や超長時間残業の規制などを要請しました。労働局は相次ぐ偽装雇用や外国人研修生の違法雇用を摘発・指導して

いますが、一方で違法行為を指導された企業の求人が引き続きハローワークで揭示・紹介されています。愛労連は労働局内部で連携をとって「違法・脱法」企業の揭示をやめるよう要請しました。

労働関係法を守らない違法行為の相談が急増していますが、監督官や担当者とはとても足りません。愛労連は職員の増員とともに青年やパートなどに「働くものの基礎知識」などの講座を増やすよう要請しました。

家族・知人等で困っている方に紹介ください。
パート・臨時・派遣、どなたでも相談できます。

無料

労働相談110番

祝祭日を除く月～金 9:30～16:30

☎ 052-881-1411

E-mail 110@airoren.gr.jp

愛労連
労働相談センター



選出され決意を語る新役員

と励まし合って、元気づけを出して共にたたかいたい」と激励しました。国民救援会の阪本貞一会長は「働くルールが破

員から激励、東海労働弁護団をはじめ各団体・組合からの激励のメッセージが紹介されました。特別講演は、愛労連の福田副議長が「労働組合運動における、争議団の役割」を講演。職場の実態と労働相談に寄せられる労働者の実態を生々しく報告。悩みなやんで告発する争議団の勇気に労働者は励まされ、拍手を送っているとまとめました。

11月25日、15争議団、3団体の支援組織、33名が出席し、労働会館本館で愛知争議団の総会が開かれました。

開会あいさつで黒島英和議長は「職場で何が起きているのか、労働者が築いた諸権利が押し込まれ、生きることへのたたかいが求められていま

経過報告と方針の提案の後、各争議団からたたかいへの思いと決意が報告されました。命を奪われる職場実態や健康破壊、過労死、過労自殺など、新しい課題も健康センターと話し合っておりくむこととしました。

たたかう仲間たち NO.26

愛知争議団連絡会議が総会を開催

働き過ぎで命奪われる 職場を変えるとりくみも

愛知争議団連絡会議 事務局長 勅使河原 勇

新役員には、議長に黒島英和、副議長に山田忠善と伊藤春生各氏と、事務局長に勅使河原勇を選出しました。

一日も早い解決に向け引き続き頑張ります。

頑張り」と決意を表明しました。来賓の福田秀俊愛労連副議長からは「働き過ぎによって、労働者が命を奪われる状況がおきている。愛労連は争議団に結集する皆さん

点に立って権利確立のため頑張る皆さんに敬意を表し、ともにたたかいたい」と連帯のあいさつをしました。さらに、日本共産党の林信敏前県会議

重性を認めたのです。裁判では、このたたかいでは客室乗務員が50人も陳述に立ちました。

弁護士は、①直近6箇月の業務の負担を見て判断、②労働時間にとられず業務内容で判断したことが特徴だとし、「不規則な勤務はほかにもたくさんある。広く労災認定に道を開くのも大きな意義がある」と強調。原告や弁護士、支援者三者の勝利です。

安全衛生

東京高裁が客室乗務員の過重性認める判決

数年前の新春学習会で、日本航空の客室乗務員の労働災害認定訴訟の話がありました。乗務で海外出張中にくも膜下出血で倒れた岩本さんの裁判です。

東京高裁は11月22日、「業務による過重な精神的・身体的負担が原因」として、労災と認める判決を下しました。一審の千葉地裁に続いて、岩本さんの過重労働はもとより、広く客室乗務員の業務について過



Topics

11/15

秋の地域統一行動は県下約200カ所の駅頭などで早朝宣伝。これを前後して学習会などもとりくまれた



11/18

教育基本法の改悪を止めよう11.18県民集会は1100人を超える人が参加。東大大学院教授の高橋哲哉氏が講演



11/19

第10回小牧平和集会には400人が参加。航空自衛隊小牧基地の機能強化反対を訴え、デモ行進も実施



11/25

医労連や自治労連、民医連が医師・看護師ふやせと医療改悪反対でナースウェーブ。200人参加で大成功

トヨタの「偽装請負」放任を暴く

第23回トヨタシンポジウムに107人が参加



107人が参加した第23回トヨタシンポジウム

第23回トヨタシンポジウムが11月23日、豊田市内の農村環境改善センターで開かれ、トヨタやその関連で働く労働者や地域住民、愛労連傘下の労働組合などから107人が参加しました。

基調講演を行った伊藤欽次氏は昨年「あなたの知らないトヨタ」を発行した以後、トヨタで急増している「リコール問題」が深刻な職場実態を反映していることをあきらかにしました。トヨタを持ち上げる書籍が氾濫している一方で、トヨタにむけた運動が大きく広がっていると指摘。内野過

JMIU徳島・光洋シーリングテクノ支部
矢部浩史さんが特別報告

労死裁判、トヨタ車体精工での「労災かくし・偽装請負」摘発と、不当解雇のたたかい、東京大気汚染訴訟第1次一審での勝訴と9月の裁判所による「解決勧告」、トヨタの社会的責任追及など、運動の前進と、トヨタシンポ・トヨタ総行動の発展を強調しました。

特別報告では、JMIU徳島光洋シーリングテクノ支部の矢部浩史支部長も参加。トヨタの孫請である光洋シーリングテクノでの「偽装請負」摘発、解雇撤回闘争を展開するなかで、同じ徳島県内の「日亜化学」で1600人の請負労働者が直雇用を勝ちとるなど大きな運動になっていることを紹介しました。

このほか、4本の特別報告を受けたあと、フロアから11人が発言しました。郵産からは「郵政職場にトヨタ方式（JPS）」が持ち込まれている実態、東京大気裁判原告団の西村弁護士が「解決にむけて大きな前進があった」ことなどを報告しました。

トヨタは働かせ方をただせ

今回のシンポジウムのテーマは、トヨタの「働かせ方」を問うというもの。トヨタの未曾有の高収益が、下請への徹底したコストダウンと、それらの企業における違法・不当な働かせ方にあるのは明白です。光洋シーリングテクノをはじめ、トヨタ車体精工の労災かくしと偽装請負、中外BMGでのブラジル人の偽装雇用、下請協同組合によるベトナム人研修生の「強制貯金」などがマスコミにも頻繁に取り上げられていま

す。しかしトヨタ本体は、「それは取引先企業の問題」と、こうした違法行為についてまったく反省していません。

トヨタの営業利益2兆円

トヨタの社会的責任追及を

トヨタ総行動実行委員会

は、今回のシンポジウムを、来年2月12日に予定しているトヨタ総行動の成功につなげていこうと、準備をすすめています。

全国で広がる偽装請負告発、東京大気汚染裁判での「和解勧告」など、運動の前進はトヨタ総行動が大きな励みになっています。

表向きのポーズは、いかにも市民・国民に貢献しているかのようには、トヨタですが、愛労連やトヨタ総行動実行委員会の要請に対しては、文書さえ受けとらず、誠意のない態度に終始しています。

「トヨタ総行動」を07国民春闘の大きな柱の一つに位置づけ、さらに大きな声をあげ、「トヨタの社会的責任」を追及していきましょ



第28回 トヨタ総行動

(概要)

日時 07年2月12日(月・祝)
場所 豊田市内・山之手公園(予)
内容 ①本社工場早朝宣伝行動
②名駅・豊田市駅等で宣伝
③派遣・請負労働者むけ宣伝
④地域ビラ宣伝
⑤トヨタ総行動決起集会
13:00～山之手公園(予)
デモ行進 本社前解散

青年協ニュース AIAI NO.11

労働組合ってステキだよ

福祉保育労青年部が「連続組合講座」で実感

福祉保育労東海地方本部では10月から12月まで6回の「連続組合講座」にとりくんでいます。

どうして組合が大切なのか、未来を展望する力、福祉労働者の賃金が高いのか、安いのかなどのテーマで講師の先生に話を聞いていただき、テーマについてグループに分かれて感想を言ったり討論をしています。

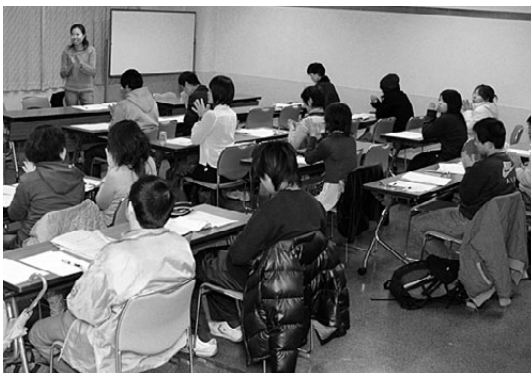
青年の中には、

「講義の中の言葉さえわからないことがたくさんあって…」という声もあります。が、討論の時間に説き及ぶと、具体的な例を出して話すこともできます。以前、組合のない職場にいた参加者は「前の職場より、うんと恵まれている」とも話してくれました。

子どもや利用者、そして私たち労働者に少しでもいい環境、条件を求めています。

この思いを参加者だけでなく、職場や青年部で語り、深め合い、希望を持って組合活動をしたい。そして未組織の職場にも、組合ってステキだよと発信していきます。

(福保労青年部発)



THE新春書き初め会～青年交流会～

とき 1月17日(水)18:30から
ところ 労働会館東館ホール
参加費 500円(軽食あり)
※青年の要求を「書き初め」や「イラスト」で表現しよう!新しいタイプの新年会です
問い合わせ 愛労連青年協 (871-5433)



「財界で意見分かれる」 ホワイトカラー・エグゼンプション

労働時間ルールを適用除外する日本版エグゼンプション制。日本経団連は推進派ですが、経済同友会は慎重な姿勢を示しています。経済界のなかで意見が分かれています。

同友会が今年11月末にまとめた意見書は「自由度の高い働き方」に関してこう述べています。

「仕事の具体的な進め方（手順）について裁量を持つ従業員は多いが、何の仕事をするかという質、量やスケジュール（納期）にまで裁量のある者は多くはないのが現実である」と。

実際、納期や締め切り、

ノルマといったものと無縁なホワイトカラー労働者がどれほどいるのでしょうか。

だから対象者は年収などを基準にするのではなく、「仕事の質や種類」で判断すべきと指摘します。そうした分類も十分にできない現状では、エグゼンプション制の導入を急がず、まずは裁量労働制の一層の活用が必要との見解です。

一方、日本経団連は「ごく一部の人が対象になるだけ」といながら、年収要件を「400万円以上」にした点のこと。広範な労働者を対象にしたいという思惑が透けて見えます。

見交換をしました。「汗水かいて住民の声を聞く。それは苦しさであり、楽しさでもあります」とあつた労連の事務局次長をつとめる中嶋久興さんは懇談会の仕掛け人として準備に半年間費やしてきました。

日本版エグゼンプションが導入されると、残業をしているサラリーマンは平均で年114万円もの残業代を失うといわれています。これは労働総研が試算したもので、内訳は、残業代削減分が45万円、サービス残業の請求権を失う分が69万円です。

日本全体では11兆6000億円にも達します。これでは日本の個人消費は大打撃を受けます。

日本経団連は少し頭を冷やして、経済同友会と話し合ってみてはどうでしょうか。

新役員紹介

■一宮労連

議長 鈴木芳男／副議長 小杉恒男／同 坂至正
事務局 坂至正

■港区労連

議長 宇佐美英世／副議長 幸島元彦／同 加藤善則
同 吉田智／同 飛弾義信／事務局 脇坂宗勝

■愛知国公

議長 磯貝勝／副議長 市川浩／同 堀時郎／同 河村朋幸／同 辻孝／事務局 吉中美登里／事務局次長 宇野進二

■通信労組

執行委員長 増田誠／副執行委員長 石原錠一／同 島川秀郎／書記長 今木洋治

■瑞穂区労連

議長 井上成人／事務局 関久一

■西三河ブロック

議長 栗生政男／副議長 桜井善行／同 福慶秀仁／事務局 中根幹男

■尾東労連

議長 加藤徹／副議長 渡辺一／同 堀勝／事務局 甲斐雄彦／事務局次長 古賀正敏

■東海法労

執行委員長 村井秀樹／副執行委員長 長尾忠昭／同 伊藤宏明／書記長 堀切幸寛

■天白労連

議長 河合宣男／副議長 佐古口理／同 福田敦之／同 田中末治／事務局 渡辺頼明

【お詫びと訂正】

前号（160号）で紹介しました名古屋労連の議長と副議長について間違いがありました。以下のとおり訂正してお詫びします。

■名南労連

議長 欠員／副議長（議長代行） 瀬戸俊秀／同 鈴木弘之

みんなの声

（名古屋市職労・森加代子）

■ストーブの季節になりましたが、今冬は灯油の値段が上がりそうです。（全印総連・西本康志）

■教育基本法改悪案が衆議院を通った後、これに反対する講演会に行きました。まさか、こんな急に、しかもろくに審議もせずに改悪案を通さざるなんて！

■名古屋に単身で来ています。久しぶりに愛労連の新聞を見たいです。（全運輸・教・原田良介）

■山歩、コラムはいつも必ず読みます。行くことは出来ないけど、想像が広がる文章で楽しみにしています。（全運輸・浅野道広）

■名古屋の初積雪の2日後、きまって訪れるのが鈴鹿連峰御在所岳。ロープウェイを降りると新雪が地表を覆い、霧水をつけた樹木が白く輝く。展望台までは除雪されており、重たいカメラ機材を担いでやってくる人や初めて見る雪におおはしゃぎの東南アジア系（？）の観光客などでにぎわっている。

スキー場を横目に山頂をめざす。青を通り越して蒼い空と白一色の景色の中を踏み跡を追って山頂までの小一時間のプロムナード。殆ど出会う人もない蒼と白だけの静寂の世界が広がる。帰りは湯の山温泉で冷えた身体をゆっくり温めて…。

今後の主な日程

- 愛労連第36回臨時大会
12月23日（土）10:00～
愛知県産業貿易館西館大会議場
- 愛労連2007新春旗びらき
1月10日（水）18:30～
労働会館東館ホール
- 愛労連・春闘共闘新春大学学習会
1月13日（土）13:30～
名古屋市公会堂4階ホール
- 愛知県知事選挙告示
1月18日（木）※2/4投票

※年末年始に伴い、12月29日から新年1月4日まで事務局閉鎖となります。良いお年をお迎えください。

労働相談の窓

急増する派遣・請負労働者からの相談

愛労連への労働相談が急増しています。11月はついに100件に。1月からの累計で750件になりました。全労連の「偽装請負なくそうキャンペーン」の一環として11～12月かけて名鉄電車に「あきらめないデ」というポスターが貼ってあり、それを見ての相談も増えています。

「喫茶店で会って〇〇会社に派遣されました。賃金の未

払いですが、派遣元がどこにあるかわからない」「個人請負ですが、会社からノルマがすごいです」…。

いずれも派遣法違反や偽装請負です。徳島の光洋シーリングの偽装請負のたたかいが全国の労働者を励まし労働局を動かしています。派遣元の営業停止や派遣先への直雇用を勝ちとっています。朝日新聞の偽装請負キャンペーンも

あり社会問題になりました。相次ぐ違法を指摘されて、経団連の御手洗会長は、「そんな派遣法、変えてしまえ」と、とんでもない発言。ヨーロッパでは、派遣労働者は期間限定で緊急性のある時だけ。しかも正規労働者との均等待遇があたりまえです。

ヨーロッパのような派遣法に変えていかなければ、違法状態はなくなりません。

労働相談の窓

愛労連への労働相談が急増しています。11月はついに100件に。1月からの累計で750件になりました。全労連の「偽装請負なくそうキャンペーン」の一環として11～12月かけて名鉄電車に「あきらめないデ」というポスターが貼ってあり、それを見ての相談も増えています。

「喫茶店で会って〇〇会社に派遣されました。賃金の未

払いですが、派遣元がどこにあるかわからない」「個人請負ですが、会社からノルマがすごいです」…。

いずれも派遣法違反や偽装請負です。徳島の光洋シーリングの偽装請負のたたかいが全国の労働者を励まし労働局を動かしています。派遣元の営業停止や派遣先への直雇用を勝ちとっています。朝日新聞の偽装請負キャンペーンも

あり社会問題になりました。相次ぐ違法を指摘されて、経団連の御手洗会長は、「そんな派遣法、変えてしまえ」と、とんでもない発言。ヨーロッパでは、派遣労働者は期間限定で緊急性のある時だけ。しかも正規労働者との均等待遇があたりまえです。

ヨーロッパのような派遣法に変えていかなければ、違法状態はなくなりません。

労働相談の窓

急増する派遣・請負労働者からの相談

愛労連への労働相談が急増しています。11月はついに100件に。1月からの累計で750件になりました。全労連の「偽装請負なくそうキャンペーン」の一環として11～12月かけて名鉄電車に「あきらめないデ」というポスターが貼ってあり、それを見ての相談も増えています。

「喫茶店で会って〇〇会社に派遣されました。賃金の未

払いですが、派遣元がどこにあるかわからない」「個人請負ですが、会社からノルマがすごいです」…。

いずれも派遣法違反や偽装請負です。徳島の光洋シーリングの偽装請負のたたかいが全国の労働者を励まし労働局を動かしています。派遣元の営業停止や派遣先への直雇用を勝ちとっています。朝日新聞の偽装請負キャンペーンも

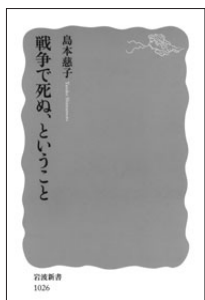
あり社会問題になりました。相次ぐ違法を指摘されて、経団連の御手洗会長は、「そんな派遣法、変えてしまえ」と、とんでもない発言。ヨーロッパでは、派遣労働者は期間限定で緊急性のある時だけ。しかも正規労働者との均等待遇があたりまえです。

ヨーロッパのような派遣法に変えていかなければ、違法状態はなくなりません。

BOOKレビュー

戦争で死ぬことをリアルに

憲法が生まれて60年。「日本で300万人が死んだ」ということ、そこにこそ九条の意義がみえてくる。著者も戦後生まれ。文獻と証言の海を泳ぎ「これが戦争のエキスを、と感じたことを、とくに「戦争を知らない世代」に伝えたいと強調している。



戦争で死ぬ、ということ
島本慈子 [著]
岩波新書
定価740円＋税